

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

もっと人のために。体外診断用医薬品分野で技術革新を続け、お客様に満足いただける品質の高い製品を供給する。

② 中長期の経営戦略

1. 遺伝子POCT機器・試薬の開発

遺伝子POCT機器試薬システムで検査項目を拡充。2018年にSmart Gene発売、2020年に新型コロナウイルス検出試薬を発売。次世代遺伝子マルチ検査システムの開発を推進。

2. 感染症POCT検査薬の市場開拓

感染症POCT免疫検査薬の製品群を拡大。ウイルス・細菌分野における市場開拓に取り組み、ラインナップ充実を図る。

3. 高感度POCT機器試薬システム

富士フイルム株式会社との共同開発で高感度感染症迅速診断システムを実現。クイックチェイサーAutoシリーズの検査項目を逐次追加し、ラインナップを拡充。

4. スイッチOTC製品と販売提携

スイッチOTC製品の先発品上市準備に取り組む。アリナミン製薬株式会社との販売提携でOTC市場シェアを拡大。

③ 対処すべき課題

① 遺伝子POCT検査の拡充

- ・ Smart Gene普及に伴う新たな検査項目開発。呼吸器、消化器、泌尿器、婦人科感染症項目の拡充。
- ・ 2025年6月にH.pylori S、同年10月に百日咳菌核酸キットの製造販売承認を取得・申請。
- ・ 測定時間迅速化、複数検体・複数項目同時検出の遺伝子マルチ検査システム開発。

② 開発人員と製造能力の強化

- ・ 既存開発人員の教育・学会参加による育成と優秀人材の採用に注力。
- ・ 2019年福岡県久留米市に新規製造工場を建設。新型コロナウイルス感染症5類移行後の需要急増に対応。
- ・ 生産ラインの新設と自動化により生産工程を合理化。高品質製品供給の生産体制を構築。

③ 競争環境への対応

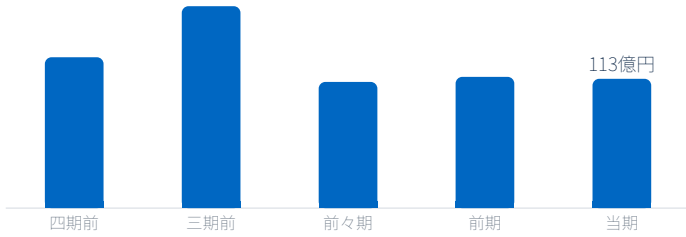
- ・ 競合他社との技術・価格競争が継続。企画開発から製造・販売の自社一貫体制で差別化。
- ・ 感染症の感染動向変化に対応。年間の流行規模や検査需要は一定水準の継続を見込む。

面接で使えるポイント

- ・ 体外診断用医薬品で遺伝子POCT検査技術を業界先発で開発。2018年Smart Gene…
- ・ 企画開発から製造、販売まで自社一貫体制で、ISO13485品質マネジメントに基づいた高品質製品を提供。
- ・ 福岡県久留米市の新規製造工場で生産能力を増強。環境・食品検査分野への技術応用など、事業拡大を戦略的に推進中。

証券コード 4595

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに
医薬品業界に属する上場企業であり、体外診断用医薬品を主要事業としています

主力事業・セグメント

- ・医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・財務健康度92点と財務基盤が健全

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
92点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 56.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
790万円

医薬品内 49位/80社

平均年齢
43.2歳

医薬品内 47位/80社

平均勤続
11.0年

医薬品内 34位/80社

女性管理職
20.8%

医薬品内 12位/41社

男性育休
0.0%

医薬品内 33位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)ミズホメディー【4595】：決算情報

